

# 別のロケータウィンドウを開く

ご存知でしたか?... 表示ウィンドウの [ 凡例 ] パネルにあるロケータ以外にも、別の〈ロケータ〉ウィンドウを開くことができます。

## 別のロケータウィンドウが開けることで...

- 独立した参照ウィンドウであり、その中のボックスは現在の表示範囲を示しています。
- マウスを使って、表示する領域の大きさを変えたり表示位置を移動することができます。
- ショートカットキーを使って〈ロケータ〉ウィンドウの中で拡大 / 縮小が出来ます。
- 〈ロケータ〉ウィンドウに対してレイヤの表示 / 非表示をコントロールできます。



リフレッシュ (Refresh)

カラー (Colors)

全てのレイヤを非表示 (Hide All Layers)

表示ウィンドウ間でマウスカーソル位置を表示 (Track mouse cursor between views)

独立した〈ロケータ〉ウィンドウ

この2つのロケータ画面の図は、異なる拡大率で参照領域を表示できることを示しています。+や-などのショートカットキーを使って、ロケータウィンドウの中で拡大 / 縮小ができます。

〈表示マネージャ〉ウィンドウの [ 表示 (Display) ] メニューから [ ロケータウィンドウを開く (Open Locator View) ] を選択することで、独立した〈ロケータ表示〉ウィンドウが開きます (右に表示)。

表示ウィンドウの [ オプション (Option) ] メニューの [ ロケータの表示 (Show Locator) ] ボタンをトグルオンすると、上図のように凡例の下にロケータが開きます (V2012 以降のバージョンでは、表示ウィンドウのサイドバー下部にあるアイコンの列から [ ロケータの表示 ] アイコンをクリックします)。

## 独立した別のロケータウィンドウを開く方法

- 表示処理 (※原文では、エディタも可能のように書かれていますが、V2014 のエディタには [ ロケータウィンドウを開く ] メニューがありません) で任意のグループやレイアウトを表示します。
- 〈表示マネージャ〉ウィンドウの [ 表示 ] メニューから [ ロケータウィンドウを開く ] を選択します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：空間データの表示：  
**ロケータによるズームと位置のコントロール**  
 (Locator Reference View Manages Zoom and Position)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS  
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14  
 紀伊国屋ビル 1F  
 Tel: (03)3623-2851  
 Fax: (03)3623-3025  
 E-mail: info@opengis.co.jp

